令和6年度 学校評価

福井市清水東小学校

A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D まったくあてはまらない A+B=目標数値と設定

観点	具体項目	具体的な取り組み	評価方法	アンケート等の評価内容	数値目標	評価		成果	改善策（提案課題）	
						(7月)	(12月)			
豊かな心	○道徳教育・人権教育の推進	自分の課題として考えさせ、変容に気付かせる道徳の授業の工夫（課題・場・ワークシート等）	児童アンケート	道徳の時間には、考えを深めることができています。	市共通	91%	87%	B	・4,5,6年生で合同でエンカウンターでスクールカウンセラーに授業を行ってもらった。心の休ませ方など普段知ることのできない意見や考えを共有できた。 ・ポジティブ週間の活動、人権宣言を考えること、思いやりの木を書くことによって友達や他の学年の子を認めてあげ、自己肯定感をお互いに高めることができた。	
		職員アンケート	本校は、道徳の授業時間を確保し、心を見つめさせたり生き方について考えさせたりする指導に努めている。	市共通	100%	100%	A			
	○互いに認め合う集団づくり	一人一人を認め合い、思いやりを大切に作る学級・学校づくり	児童アンケート	学校が楽しいです。	市共通 SP90%	89%	94%	B	・週に一回、業間や昼休みを使ってクラス遊びをすることによって仲を深めることができた。 ・いじめアンケートの前に、いじめが絶対だめであること、いじめをすぐ伝える大切さを指導する。アンケートをする時間帯ややり方を工夫してアンケートに答えやすくする。来年度はTeams内に相談チャンネルを開設し、児童がいじめや悩み事をいつでも相談できるようにしていく。それにより、教員は迅速に問題に対処できるようにする。 ・スクールカウンセラーとのエンカウンター授業継続や道徳授業の充実を図る	
			保護者アンケート	我が子は、学校生活を楽しくしており、友人関係も良好である。	市共通	98%	91%	A		
		職員アンケート	私は、児童一人一人の個性を尊重し、自分の相手も大切に作る学級・学校づくりに取り組んでいる。	市共通	100%	100%	A			
		児童アンケート	みんなで何かをするのは楽しいです。	市共通	91%	97%	A			
	○感謝の心を持ち、進んであいさつする子どもの育成	思いを伝えるあいさつの推進（家庭・地域・中学校区との連携）	児童アンケート	自分から進んで明るいあいさつができています。	SP90%	88%	92%	B	・思いやりの木を通して、周囲に優しくする言動や優しさで感謝をする気持ちを持つことができた。 ・委員会によるあいさつ運動を継続実施する。 ・思いやりの木を年2回、各学期末ごとに実施する。	
			保護者アンケート	我が子は、場にあったあいさつや適切な言葉遣いができている。	SP90%	85%	73%	C		
	確かな学力	○学びをつなげる授業づくり	自分、友だち、地域、過去、未来、様々なつながりの中で、主体的にゴールを目指す児童の育成何とつながるのか、またその効果を明確にした授業づくり	児童アンケート	自分の考えを伝え合うことができています。	SP80%	82%	87%	B	・校内でICT研修を行い、児童が楽しく便利に学習に使えるアプリを学び、授業に使うようにしている。児童は、学習の発表やふり返りで抵抗なくICTを使えるようになっていく。今後も継続して学習に有効なICT活用を行っていきたい。 ・社会や総合的な学習の時間で家庭で調べ学習を行うと、調べてきたことを発表したいという意欲も高まり、効果的であった。 ・家で音読や歌など録音したものをTeamsで提出するという家庭学習を行ったところ、普段より感情をこめて意欲的にできていた。
				児童アンケート	次の時間にどんなことを学習するかが分かっています。	学校設定 90%	91%	96%	B	
児童アンケート				授業中によくタブレットを使って学習しています。	学校設定 90%	92%	93%	B		
児童アンケート				授業に自分から進んで取り組んでいます。	市共通	93%	97%	A		
保護者アンケート				我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいる。	市共通	53%	61%	C		
職員アンケート				私は、児童の発言の機会を確保や児童への発言の支援を行っている。	市共通	100%	100%	A		
○活用の礎となる基礎学力の定着		語彙力・計算力の定着、読解力、思いを文にする力、ICTを利用して表現する力	児童アンケート	授業がよくわかります。	市共通	93%	99%	A		
			児童アンケート	先生は授業内容を一生懸命教えてくださいました。	市共通	96%	97%	A		
			職員アンケート	本校は、発達段階や児童生徒一人一人に応じた授業づくりに、熱心に取り組んでいる。	市共通	100%	100%	A		
			児童アンケート	進んで本を読んでいます。	SP80%	85%	80%	B		
○語彙に親しむ児童の育成	読書活動の推進（朝読書・親子読書・伝え合い）	保護者アンケート	我が子は、進んで本を読んでいる。	SP児80%	29%	27%	C	・4月の学級懇談の時間に家庭での読書の取り組みを話し合ってもらった時間をとってはどうか。 ・毎朝時間を惜しむように図書室へ向かい、本を借りる児童がよく見られるようになった。火、金曜日の読書タイムも学校内で静かに集中して読書できるようになっている。		
		職員アンケート	私は、読書活動の支援や工夫を積極的に行っている。	市共通	90%	80%	B			
		児童アンケート	失敗してもあきらめずに取り組んでいる。	SP児80%	97%	93%	A			
たくましい心と体	○粘り強くやり抜く力の育成	チャレンジの場作りと称賛の推進 将来の夢や生き方を学ぶキャリア教育の推進 ポジティブ教育の推進（夢へのパスポート・中学校区連携）	児童アンケート	失敗してもあきらめずに取り組んでいる。	SP児80%	97%	93%	A	・前年度以上にキャリア教育に取り組むことができた。教師だけでなく、いろいろな会社や企業から来てもらうことで多様な考えを育むことができた。小さい頃やっていたこと、得意なことが将来の自分に結びつけることができるということを伝えることができた。 ・月に1回のポジティブ教育を今後も継続的に行っていき、保護者の方にもポジティブ教育の講演を聞いてもらったり、授業参観と一緒に進んでもらったりして、家庭でも子どもにあなたか言葉かけを行ってもらう。	
			保護者アンケート	我が子は、失敗してもあきらめずに取り組んでいる。	SP児80%	73%	73%	C		
			児童アンケート	将来の夢やめざす目標をもっています。	市共通	89%	93%	A		
	○自主性をはぐくむ力づくり	児童がめあてを持って取り組む活動（全校外遊び・パワーアップ活動）	児童アンケート	進んで運動しています。	SP90%	85%	85%	C	・器械運動などの技を拡大したものを体育館に貼り、子どもたちが主体的に運動できるようにしていく。 ・県のスポーツ課が作成した「はぴりゅうスポーツ広場」のサイトを積極的に使い、休み時間や家庭でも進んで運動するよう促していく。	
			児童アンケート	「早寝・早起き・朝ごはん」ができています。	SP90%	91%	90%	B		
	○家庭と連携した生活習慣の確立	食の大切さを理解させる食育の推進・生活リズムを整える取組（家庭・地域との連携）	保護者アンケート	我が家は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣ができています。	SP児童90%	78%	84%	C	・学活の時間を使い保健指導の継続、保健便りを用いて家庭の啓蒙を継続して行う。	
			児童アンケート	清水東地区の自然や環境など、地域のことを学習することは好きです。	市共通	84%	85%	B		
	地域とつながる学校	○地域における体験活動の推進	地域の資源を活用したふるさと学習の推進（学校ボランティア・地域との連携）	児童アンケート	ふるさと福井を大切にしたいという気持ちをもっています。	市共通	95%	94%	A	・生活科や総合的な学習の時間で地域学習に取り組む際には、前年度やったことをそのまま追従するのではなく、社会の現状や児童の実態を把握した上で、1年間の見通しをしっかりと立てて取り組むようにしていく。児童に次年度の見通しを持たせるため、一つ下の学年に今年度取り組んだ内容を伝える時間を設けるとよい。
				職員アンケート	私は地域と連携し、地域に発信した活動に取り組んでいる。	SP 100%	91%	90%	C	
				職員アンケート	本校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。	市共通	100%	100%	A	
児童アンケート				安全に気をつけて生活しています。	市共通	93%	97%	A		
○危機回避能力の育成		自分の身を守るための意識向上（集団登下校訓練・交通安全教室・避難訓練）	保護者アンケート	我が子は、災害から身を守るための行動を理解している。	市共通	87%	75%	C	・避難訓練後のふり返りを「感想」から「今日、学んだことを家族に伝えよう」の文言に変更する。児童が学び考えたことを保護者と共有することを継続する。年間を通したふり返りを実施する。 ・学校で行事や活動があった場合は、お家の人に話をできるようにすすめて、ワークシートやふり返しシートにお家の方の言葉欄を設けたりして、学校の話題が家庭でも出てくるような課題の出し方を今後とも継続していく。	
			保護者アンケート	学校は、不審者への対応や交通安全など安全面について適切に指導している。	市共通	95%	95%	A		
			保護者アンケート	学校は、授業参観や学校行事等、教育活動の公開が十分なされている。	市共通	100%	98%	A		
			保護者アンケート	我が子は、学校であったことをよく話してくれる。	市共通	80%	88%	B		
			保護者アンケート	学校は、保護者に教育方針や教育内容を適切に伝えている。	市共通	98%	91%	A		
			保護者アンケート	学校は、子どもたち一人一人を大切に、温かく指導している。	SP80% 市	98%	96%	A		
○情報公開と連携	授業や行事の積極的な公開と双方向の発信（学校公開・学校だより・HP・動画配信）	保護者アンケート	子どものことで、気軽に学校に相談できる。	市共通	91%	88%	B			
		保護者アンケート	教職員定時退庁日をはじめとする働き方改革の取組を理解できる。	市共通	98%	98%	A			
		職員アンケート	本校は、スクールプランに基づき、目指す子どもの姿の実現に向けて協働して取り組んでいる。	市共通	100%	100%	A			
		児童アンケート	スマートルールを守っている。	SP90%	78%	79%	C			
○スマートルールの遵守	しみずスマートルールへの意識向上（情報モラル教室・家庭との連携）	保護者アンケート	我が子は、スマートルールを守って使っている。	SP 児童90%	51%	52%	C	・12月保護者懇談時の親子メディア教室を通し、保護者とメディア使用に関する意識や読書や音読の大切さを共有することができた。 ・啓蒙活動として、保護者に情報を提供する。 ・4月学級懇談会は、指導部から出される「学級懇談会トピック」を参考に、家庭でのスマートルールや読書の推進等に関して、保護者同士の良いアイデアを共有する。 ・7月（12月）の保護者懇談会の公開授業で、メディアに関する授業を行う。地区ごとに教室で放送を聞きながら、親子でメディアのスマートな使用の仕方について考える機会をもつ		

数値目標がない場合は、80%を目標として考えています。	目標を十分達成	A
	目標を達成	B
	未達成	C